

演劇リハビリを体験してみませんか？ ワークショップのお誘い

京都新聞福祉活動支援助成

PD 友の会京都府支部主催

私たちパーキンソン病患者は何もかも小さくなります。動作・声・字が小さくなり感情までもが小さくなったように思われます。それを自覚できればいいのですが、自分のことは客観的にみることはなかなか難しいです。

演劇の手法を用いたリハビリは楽しみながら自分を振り返ることができます。例えば大きな声を出すだけでなく、その声を誰かに届けるのか、どんな気持ちを出すのか、何をわかってもらいたいのか、など身体全体を使って表現していきます。

仲間とつながる、相手と笑いあうことができ、観客になって笑うこともできます。声や感情を自由に動かし、達成感や自己肯定感が得られます。パーキンソン病患者にとっての必要なリハビリ要素が詰まっています。

一度演劇体験してみませんか？皆様の参加をお待ちしています。

日時・場所：第1回目 10月26日(日) 13時15分から14時45分(13時受付開始)

ひとまち交流館 第5会議室 (河原町五条下がる)

第2回目 11月2日(日) 13時15分から14時45分(13時受付開始)

下京いきいきセンター 集会室 (塩小路高倉)

- 2日間の参加でもいずれか1日でも OK。会場が違いますのでご注意ください。

会報誌と日程・場所が変更になっています。ご注意ください。

演劇講師：一般社団法人 ART&HEALTH きょうと代表理事 細見佳代先生

参加定員：会員限定 20名

費用：無料

内容：会報誌「ともに」 No161の27ページに詳しく載せています。ご参照ください。

ご不明点は担当者まで ● 福井真喜子：090-8794-6091(9:00~19:00)



同封のハガキの返送を必ず願
いします。
締め切り9月末